

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 1 月 13 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部地域行政学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2024 年 12 月 28 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	台湾
留学先大学	中国文化大学(日本語名) 中國文化大學(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	中国語/英語
留学期間	2024 年 9 月~2024 年 12 月
留学先大学で在籍した学年	4 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 日本語学科 現地言語での名称: 日文系 ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☐ 公立 ☒ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬~7 月下旬 2 学期: 9 月中旬~2 月上旬	1 学期: 9 月上旬~12 月下旬 2 学期: 2 月中旬~5 月下旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	約 750 名
創立年	1962 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (台湾ドル) (1 現地通貨 = 4.5 円)	B 日本円	備考
授業料		円	交換留学のためなし
宿舍費	11,700TWD	円	
食費	27,000TWD	円	
図書費		円	なし
学用品費	1,500TWD	円	
携帯・インターネット費	4,000TWD	円	30 日分の SIM×4 か月
現地交通費	600TWD	円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	1,000TWD	円	
被服費	3,000TWD	円	
医療費		円	
保険費		46,760 円	形態: 明治大学の保険
渡航旅費		74,000 円	
ビザ申請費	1,000TWD	7,700 円	
雑費	10,000TWD	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	59,800TWD (=269,100 円)	197,460 円	
総計(A+B) ※円		466,560 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田空港 目的地：台北桃園空港 経由地：

復路 出発地：台北桃園空港 目的地：羽田空港 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：peach 料金：40,000 円

復路 航空会社：peach 料金：34,000 円 ∴合計：74,000 円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☐ インターネット(サイト名：)

☒ その他(peach アプリ)

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：大雅館) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 4 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学が提供

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

かなり狭く、決して綺麗ではないですが外国人学生と台湾人学生の両方がいるので新しい友達を作る機会にはなると
思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

学校からの情報や日本台湾交流協会からのメール、インターネットなどで情報収集しました。実際に犯罪に巻き込まれることはなかったです。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

寮にも学校にも Wi-Fi があるので基本何とかできます。ただ、一度だけ停電して Wi-Fi が使えなくなることはありました。学校で推薦された SIM カードを購入して使用していたので Wi-Fi がない環境でも問題はなかったです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

空港や学校付近の郵便局で両替したお金とクレジットカードを使用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

日本の企業も多くあり、文化も似ているので日本製の物も多くあります。そのため、大体のものは調達できると思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16 単位	☒ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☐ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
初級中文會話	初級中国語會話
科目設置学部・研究科	教務部
履修期間	1 学期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 100 分が 1 回
担当教授	WU,SHU-CHYANG
授業内容	中国語の基本的な会話を学ぶ
試験・課題等	中間スピーチ、期末プレゼンテーション
感想を自由記入	中国語はほとんど分からないまま台湾に行きましたがこの授業のおかげで少し上達出来たように思います。受講者が全員外国人なので友達も作りやすいです。交換留学生もかなり履修していました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Cost Accounting		原価計算
科目設置学部・研究科	Department of Global Business	
履修期間	1 学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 1 回	
担当教授	HUNG,CHAO-YANG	
授業内容	企業の財源管理について学ぶ	
試験・課題等	中間試験、期末試験	
感想を自由記入	少し難しかったですが明治大学の経済系の授業に繋がる部分もあったので興味深く面白かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Innovation and Entrepreneurship Management		革新と起業管理
科目設置学部・研究科	Department of Global Business	
履修期間	1 学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 1 回	
担当教授	CHANG,CHI-YA	
授業内容	起業に関する知識を学ぶ	
試験・課題等	中間試験、期末プレゼンテーション	
感想を自由記入	起業する予定はないですが企業の競争やどう発展するかについて学ぶことが出来面白かったです。期末のプレゼンテーションは少し大変でしたがいい経験でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Organizational Behavior and Management		組織行為と管理
科目設置学部・研究科	Department of Global Business	
履修期間	1 学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 1 回	
担当教授	HUANG,HSUEH-LI	
授業内容	組織における人々の行為の影響を学ぶ	
試験・課題等	中間試験、期末試験	
感想を自由記入	先生がアメリカでの勤務経験があり、自身の国籍や性別で受けた差別の話をよくしてくれました。今後社会人になる身としてかなり役に立ったと感じます。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Communication Theories		コミュニケーション理論
科目設置学部・研究科	Department of Advertising	
履修期間	1 学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 1 回	
担当教授	PAN,CHIA-HSIN	
授業内容	広告の影響について学ぶ	
試験・課題等	中間プレゼンテーション、期末動画制作	
感想を自由記入	国際生向けの学部ではないのでほとんど台湾人学生でした。そのため先生も中国語を使うことが多くありました。内容としては色々な国の広告を見て学習できたので面白かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Selective English Readings in Political Science		政治学英文選択講読
科目設置学部・研究科	Department of Political Science	
履修期間	1 学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 100 分が 1 回	
担当教授	LIN,HSUAN-HSIANG	
授業内容	英語で書かれた政治学に関する文を読む	
試験・課題等	中間試験、期末試験	
感想を自由記入	こちら国際生向けの学部の授業ではないのでほとんどが台湾人学生でした。高校の政治経済や倫理の授業で学んだような文を英語で読み、復習しつつ知識を深められたように思います。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

外資就職

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学前に出来る就活(自己分析や説明会参加など)をある程度やっていたのでスムーズに終了し留学に集中できました。早めに終わらせたい人は日本にいる間に出来るだけ多くのことをやっておくことをお勧めします。ただ、留学中は留学中にしかできない経験がたくさんあるので留学中に就活に重点を置く必要はないと思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	語学試験の勉強
	10 月 ~ 12 月	
留学開始年	1 月 ~ 3 月	中国語の勉強
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	ビザ取得、出発
	10 月 ~ 12 月	帰国
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私は英語をツールとして用いて様々な国の人と交流したいと思い台湾を選びました。実際に留学しなければ出会うことのなかったであろう国の人も交流でき、自分の知識や経験が非常に増えたと感じています。もちろん留学中は寂しさや孤独感を感じることもありましたが、日本にいる人たちや同じく留学中の明大生に支えてもらいながら乗り越えることが出来ました。不便に思ったり日本が恋しくなったりしましたが、それ以上に得られることが多かったため後悔したことは一度もなかったです。留学は大きな決断ではありますが少しでも前向きな気持ちがあるのなら留学に踏み出してみることをお勧めします。私は 1 学期間という短い期間でしたがそれでもたくさんのことを学べたので、就活など不安材料があり悩んでいる人は一学期でも十分多くのことを経験できると思います。